

宗祖大師東国ご巡錫1200年を慶讃し

胎臍界曼荼羅供を奉修



平成二十九年は、宗祖伝教大師最澄さまが上野国浄法寺（群馬県藤岡市）へご巡錫されてより一千二百年になります。
この記念すべき年に大師のご遺徳を讃えるため、群馬天台青年会では天台密教の修法である胎臍界曼荼羅供を浄法寺さまを会場に、天台宗開宗記念日である一月二十六日に執り行いました。

法要を執り行う上で3度の研修会と伝法会を開催



伝法
小寺 照依師



行法
菅野 澄順師

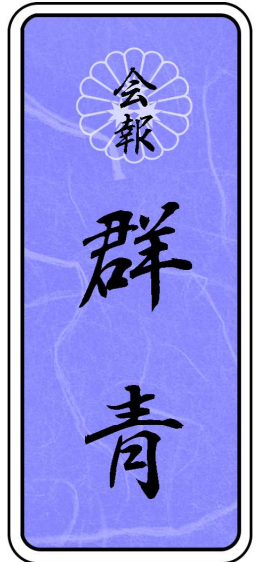


次第・莊嚴
小堀 光雄師



音用
山形 宗湛師

奉修に先立ち、陸奥教区真珠院住職菅野澄順師、神奈川教区青柳院住職小堀光雄師、延暦寺一山理性院住職山形宗湛師、を講師にお招きし、音用や莊嚴、行法等についてそれぞれ研修を行って頂きました。また、延暦寺副執行小寺照依法務部長には、逆酒水を伝法賜りました。
法要習礼を何度も行い所作の統一、また音用の完成に向け出仕者一同励みました。
法要は藤井祐幹会長導師のもと、青年会会員二十名が出仕し、また群馬天台雅楽会には奉奏頂きました。
三浦祐俊群馬教区宗務所長はじめ教区諸大徳、多野部檀信徒会、同伝道師会、立正佼成会の皆さまなど、多数の方々にご参列を賜り、盛大な法要となりました。
このような法要が執り行えましたことに厚く感謝申し上げます。
(小川晃龍 轟圭順)



群青

第8号

平成29年
4月30日発行

【発行所】
高崎市中尾町1261
天台宗群馬教区
宗務所内

【発行人】
群馬天台青年会

【編集・デザイン】
広報部

【印刷】
(株)イデア
エンタープライズ

群馬天台
青年会HP
<http://gunjou.jimdo.com/>



第二十三代

会長挨拶

東前橋部
正法院 藤井祐心



本年度より当会の会長を務めさせて頂くこととなりました。就任にあたりご挨拶申し上げます。
当会は平成三十一年に創立五十周年を迎えます。その五十周年事業の一環として平成三十年に群馬結集を開催いたします。二十年ぶりの群馬開催となりますので、役員一丸となり推し進めて行きたいと思っております。
この二年間で出来得ることは精一杯精進していく所存ですので、教区諸大徳様のご指導ご鞭撻、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

合掌

恵心僧都 一千年 御遠忌

念仏回向式



平成二十八年六月八日
天台浄土教を大成させた
恵心僧都源信さまの一千
年御遠忌報恩法要を北群
馬部興禪寺（権頭俊澄住
職）を会場に、念仏回向
式を以て十八名で奉修い
たしました。

法要に先立ち五月二十
六日に小作昌隆法儀研修
所所長を講師に念仏回向
式についての研修会を開
催し、その内容や構成・
音用等についてご講義頂
きました。

法則の音用も含め、念
仏回向式を一からしっか
り勉強し直せた事は音用
は勿論、恵心僧都の念仏
への想いに触れ、祖師先
徳鑽仰大法会に対するよ
り一層の理解を深める良
い機会となりました。



会場：北群馬部 興禪寺

またこの研修・法要の
流れは学びと実践を繰り返
し行う緊張感のある本年
度の仏青行事の第一歩
となり、こうした研修の
積み重ねが日常の法務へ
と続くことに気が付かされ
た法要でもありました。
(権頭泰澄)



念仏回向式講師
小作 昌隆 法儀研修所所長

宗祖大師ご生誕



1250年慶讃報恩法要



平成二十八年八月十八日、ご生誕一千二百五
十年ご祥当を迎えられた宗祖大師の報恩法要を
法華三昧にて、大師所縁の浄法寺で執り行いま
した。

この日に合わせて毎年浄法寺を清掃し、法要
にご随喜頂いている立正佼成会高崎支部さまよ
り、会員が写経した法華経の奉納があり、法要
に合わせてこの法華経の開眼も行いました。

法要には小川晃豊宗議会議長はじめ教区諸大
徳、法華経を写経した立正佼成会の会員の皆さ
ま一五〇名、多野部の伝道師さまが集い、堂内
からあふれんばかりの人々に法要を見守って頂
きました。
(轟圭順)

↑立正佼成会高崎支部会員の方
々が写経した法華経を自らの手で
奉納して頂きました。

群馬県仏教保護会慰問



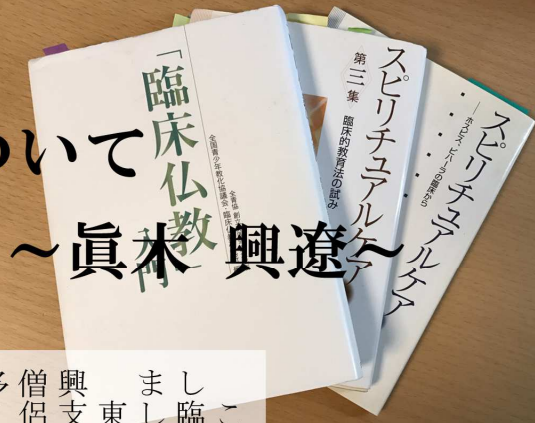
平成28年12月5日、前橋市にある群
馬県仏教保護会へ慰問品をお届けしま
した。
毎年たくさんの慰問品のご提供ありが
とうございます。
今年度もかわらないご支援をよろしく
お願いいたします。



臨床仏教師について

(まき こうりょう) 北前橋部 円龍寺 副住職

2012年-東北大学文学部宗教学研究室卒業
2015年-大正大学修士課程天台学コース卒業
2017年-臨床仏教師資格認定
現在 - 上野・浅草周辺の路上生活者支援や渋川医療センター緩和ケア病棟で活動中



この度、養成講座を修了し臨床仏教師の認定を頂きました。
東日本大震災において復興支援や傾聴活動といった僧侶によるボランティアが多く見られた事を契機に、仏教師の社会貢献や臨床現場での活動といった領域に対する社会の関心が高まりました。
そのような動きの中、仏教師が臨床現場に関わる際の実践的・専門的な知識を学ぶ場として「臨床仏教師養成講座」が開かれ、ケアの専門家としての「臨床仏教師」という資格制度が設立されました。臨床仏教師は、人生の生老病死にまつわる現代社会の苦悩に寄り添うことを目指し、その活動領域は、医療現場でのホスピスケアやターミナルケアをはじめ、不登校・ひきこもり家族支援、生活困窮者支援、障害者支援、自死防止など、医療・教育・福祉の多岐にわたります。



→ 炊き出し支援活動の様子

現代人の苦悩へ 仏教精神に基づき寄り添う 福祉活動資格

現在は、路上生活者の方への炊き出し・夜回り等の支援や、渋川市にある渋川医療センター緩和ケア病棟にて患者様への心身のケアといった活動に携わらせて頂いております。一仏教師として人々の苦しみに少しでも寄り添えるよう、微力ながらも地道に活動を継続して参りたいと思っております。



↑ 国立台湾大学附属病院研修でのドクター達との懇親会の様子

群馬県神職青年会・

群馬天台青年会合同研修会

天台雅楽会 会員募集



お問い合わせは仏青事務局まで。



平成二十八年十一月十七日、高崎市の群馬県神社庁にて、群馬県神職青年会とともに、お互いの教義に対する理解と親睦を深めることを目的とした研修会が開催されました。
事前に双方から出された質問に、各会選出の代表者がそれぞれ答えるという形式で発表が行われました。
具体的な内容として、当会側は「仏教における死生観」「寺院の仕事内容」「昨今の仏教界の事情」などについて発表を行い、神職青年会からは「神職の装束」「神道における死生観」、「氏子の定義」などについて発表されました。
各講演の後には、それぞれ質疑応答の時間もとられ、出席者から活発な質問や意見が出されました。
神社と寺院の相互理解や交流をより深めてゆくため、今後もこうした機会を企画してまいります。
(小川晃龍)



新会員紹介



伊勢崎部 長安寺(嗣)
林祐快師



世良田部 普門寺(嗣)
大澤亮智師



西前橋部 光嚴寺(嗣)
田中孝順師



西群馬部 蓮華寺(嗣)
紺野量嗣師



西群馬部 光明寺
筒井教恵師

群馬教区 青少年研修会

日付：平成29年8月8日(火)～9日(水)
会場：世良田部 長光寺 (伊勢崎市)

研修生&スタッフ募集



この度、平成二十九年二月二十日に行われました天台仏教青年連盟代表選挙において、第二十四代天台仏教青年連盟代表に就任することになりました。

私は群馬の諸先輩より県内はもちろん、関東のみならず全国各地の先輩、同年代、後輩と数多くのご縁を結んで頂きました。その縁もあり群馬仏青会長や現在の連盟事務局長を務めている間も多くのかたと一緒に事業を行い、支えて頂きました。他教区仏青が一つの行事を一緒にすることのでられるもの大切さを学ぶことが出来ました。

その想いが強くあるので代表就任期間は、他教区にすでに縁のある先輩同士が教区の違いの後輩を結びつけ、その後輩と一緒に行事を行い、そこから出来た縁をさらに広げ、近隣教区から関東などの各地方内で縁を結び、最後は全国で

今後も群馬の諸大徳を始めとする多くの人を頼り、多くの人にこの機会をいただき、多くの後輩の縁を結ぶために、ご協力をお願いいたします。

浅学非力な私ですが、二十年先のご縁のために、どうかお願い申し上げます。

合掌



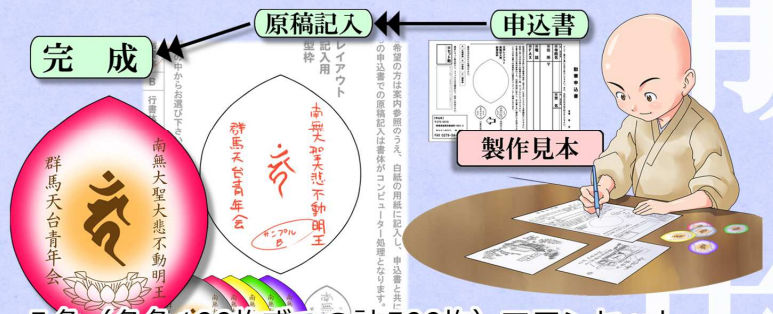
第二十四代天台仏教青年連盟 代表就任挨拶

南前橋部 永福寺
谷 晃仁



当会製作散華のご案内

ご希望の寺院名・山号・経文や言葉・梵字等で製作いたします。



5色(各色100枚ずつの計500枚)でワンセット、1万2千円～です。
詳しくは当会ホームページ、もしくは事務局までお問い合わせください。

↓他教区仏青さまからもご参加頂いた
御巢鷹山慰霊登山 (平成28年10月18日)



～編集後記～

声明が唱えられない、ハカセが判らない、魚山声明帳が読めない、曼供をしたことがない…。そんなメンバーが練習を何度も繰り返して、法要が無事出来たことに感動しました。F師の「初めて魚山声明帳が読めました」の一言が如実に物語っています。今まで読んでなかったんだね!! (爆) 広報部 合掌